

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成21年11月26日 (2009.11.26)

【公表番号】特表2009-521183(P2009-521183A)
 【公表日】平成21年5月28日 (2009.5.28)
 【年通号数】公開・登録公報2009-021
 【出願番号】特願2008-547084(P2008-547084)
 【国際特許分類】

H 0 4 H 20/28 (2008.01)

H 0 4 H 20/42 (2008.01)

H 0 4 J 3/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 H 20/28

H 0 4 H 20/42

H 0 4 J 3/00 M

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月7日 (2009.10.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ノーマルデータストリーム及び付加データストリームを含む伝送ストリームが受信されると、前記付加データストリームを復調する復調部と、

前記伝送ストリームに対して等化を行う等化部と、を含み、

前記ノーマルデータストリームは第 1 圧縮方式によって圧縮処理されたものであり、付加データストリームは第 2 圧縮方式によって圧縮処理されたものであることを特徴とするデジタル放送受信機。

【請求項 2】

前記伝送ストリームのうち前記ノーマルデータストリームを処理して前記ノーマルデータストリームを復元する第 1 処理部と、

前記伝送ストリームのうち前記付加データストリームを処理して前記付加データストリームを復元する第 2 処理部と、

を更に含むことを特徴とする請求項 1 に記載のデジタル放送受信機。

【請求項 3】

前記第 1 処理部は、

前記伝送ストリームのうち前記ノーマルデータストリームに対してエラー訂正デコーディングを行うビタビデコード

を含むことを特徴とする請求項 2 に記載のデジタル放送受信機。

【請求項 4】

前記第 2 処理部は、

前記伝送ストリームのうち前記付加データストリームに対してエラー訂正デコーディングを行うターボデコード

を含むことを特徴とする請求項 2 に記載のデジタル放送受信機。

【請求項 5】

前記第 1 処理部は、

前記エラー訂正デコーディングされたノーマルデータストリームをデインターリーピングする第1デインターリーバと、

前記デインターリーピングされたノーマルデータストリームをリードソロモンデコーディングするRSデコーダと、

前記リードソロモンデコーディングされたノーマルデータストリームを逆ランダム化して前記ノーマルデータストリームを復元する第1逆ランダム化部と、

を更に含むことを特徴とする請求項3に記載のデジタル放送受信機。

【請求項6】

前記ターボデコーダは、前記エラー訂正デコーディングされた付加データストリームを伝送ストリームに挿入して前記伝送ストリームを再構成し、

前記第2処理部は、

前記再構成された伝送ストリームをデインターリーピングする第2デインターリーバと

、
前記デインターリーピングされた伝送ストリームに存在するパリティを除去するパリティ除去部と、

前記パリティの除去された伝送ストリームを逆ランダム化する第2逆ランダム化部と、
を更に含むことを特徴とする請求項4に記載のデジタル放送受信機。

【請求項7】

前記ノーマルデータストリーム及び前記付加データストリームは、互いに異なる圧縮方式によって圧縮処理されたものであることを特徴とする請求項1に記載のデジタル放送受信機。

【請求項8】

前記第1圧縮方式は、MPEG-2 (Moving Picture Experts Group-2)、H.264、及びMPEG-4のうち少なくとも一つであることを特徴とする請求項1に記載のデジタル放送受信機。

【請求項9】

前記第2圧縮方式は、MPEG-2 (Moving Picture Experts Group-2)、H.264、及びMPEG-4のうち少なくとも一つであることを特徴とする請求項1に記載のデジタル放送受信機。

【請求項10】

デジタル放送受信機のストリーム処理方法において、

ノーマルデータストリーム及び付加データストリームを含む伝送ストリームを受信するステップと、

前記伝送ストリームに含まれた前記付加データストリームを復調するステップと、

前記伝送ストリームに対して等化を行うステップと、を含み、

前記ノーマルデータストリームは第1圧縮方式によって圧縮処理されたものであり、付加データストリームは第2圧縮方式によって圧縮処理されたものであることを特徴とするストリーム処理方法。

【請求項11】

前記伝送ストリームのうち前記ノーマルデータストリームを処理して前記ノーマルデータストリームを復元するステップと、

前記伝送ストリームのうち前記付加データストリームを処理して前記付加データストリームを復元するステップと、

を更に含むことを特徴とする請求項10に記載のストリーム処理方法。

【請求項12】

前記ノーマルデータストリームを処理するステップは、

前記伝送ストリームのうち前記ノーマルデータストリームに対してエラー訂正デコーディングを行うステップ

を含むことを特徴とする請求項11に記載のストリーム処理方法。

【請求項13】

前記付加データストリームを処理するステップは、
前記伝送ストリームのうち前記付加データストリームに対してエラー訂正デコーディングを行うステップ

を含むことを特徴とする請求項 11 に記載のストリーム処理方法。

【請求項 14】

前記ノーマルデータストリームを処理するステップは、
前記エラー訂正デコーディングされたノーマルデータストリームをデインターリーピングするステップと、
前記デインターリーピングされたノーマルデータストリームをリードソロモンデコーディングするステップと、
前記リードソロモンデコーディングされたノーマルデータストリームを逆ランダム化して前記ノーマルデータストリームを復元するステップと、
を更に含むことを特徴とする請求項 12 に記載のストリーム処理方法。

【請求項 15】

前記付加データストリームを処理するステップは、
前記エラー訂正デコーディングされた付加データストリームを前記伝送ストリームに挿入して前記伝送ストリームを再構成するステップと、
前記再構成された伝送ストリームをデインターリーピングするステップと、
前記デインターリーピングされた伝送ストリームに存在するパリティを除去するステップと、
前記パリティの除去された伝送ストリームを逆ランダム化するステップと、
を更に含むことを特徴とする請求項 13 に記載のストリーム処理方法。

【請求項 16】

前記ノーマルデータストリーム及び前記付加データストリームは、互いに異なる圧縮方式によって圧縮処理されたものであることを特徴とする請求項 10 に記載のストリーム処理方法。

【請求項 17】

前記第 1 圧縮方式は、MPEG-2 (Moving Picture Experts Group-2)、H.264、及び MPEG-4 のうち少なくとも一つであることを特徴とする請求項 10 に記載のストリーム処理方法。

【請求項 18】

前記第 2 圧縮方式は、MPEG-2 (Moving Picture Experts Group-2)、H.264、及び MPEG-4 のうち少なくとも一つであることを特徴とする請求項 10 に記載のストリーム処理方法。